

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	相馬 文子	電話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3176	事務事業名称	学童保育事業				短縮コード	経常	3176	臨時	3552	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	07	学童保育費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市学童保育条例, 八千代市学童保育条例施行規則, 八千代市学童保育ガイドライン							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和48年に保護者(特に母親)の就労により、「かぎっ子」が増大したことから、保護者の仕事と育児の両立と児童の健全育成を図るため開始した。平成9年6月3日「児童福祉法等の一部改正に関する法律」が成立し、学童保育が「放課後児童健全育成事業」として法制化され、平成10年4月1日から第二種社会福祉事業に位置づけられた。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	01	第1章健康福祉都市をめざして					
就労している母親が増加し、また東葉高速鉄道沿線の開発等により一部地域では人口が増加しているため、それに伴い、年度当初において学童保育所への入所を希望しても入れない待機児童がいる。					大項目(節)	02	第2節社会福祉					
					中項目	01	1. 児童福祉					
					小項目	02	(2)児童の健全育成の推進					
					細項目	01	①放課後児童対策の充実					
					実施計画の計画事業	1008	学童保育事業					
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	~			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	小学校1年生から3年生までの児童及び配慮を要する4年生から6年生までの児童で、放課後帰宅しても保護者の就労等の理由で適切な監護を受けられない児童						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: 学童保育所の入所・退所申請受付・審査・決定 学童保育料の決定・徴収・督促 学童保育所の維持管理 ※平成24年度に計画していること: 学童保育所の入所・退所申請受付・審査・決定 学童保育料の決定・徴収・督促 学童保育所の維持管理						
意図 (何を狙っているのか)	保護者の就労等で適切な監護を受けられない児童を放課後安全に保育し、健全に育成する						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	22年度		23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市内小学校1~3年生までの児童数	人	6,121	6,386	5,943	5,739
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	入所決定児童数	人	872	935	880	1,050
	指標2	学童保育所の設置数	箇所	18	20	21	21
	指標3	建物の修繕額	円	926,604	900,000	780,139	0
成果指標	指標1	年度当初における入所申請者に対する決定者の割合	%	97	100	98	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3176	事務事業名称	学童保育事業		所属名	子育て支援課	
	単位	22年度		23年度		24年度	
		実績		計画		実績	
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円	51,501	60,094	62,024	71,942
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	70,865	99,772	81,671	112,015
		その他	千円	103,375	100,643	105,722	91,886
主な事業費の内訳		委託費 217,032,015円		委託費 255,541,004円		委託料 13,152,679円	委託費 263,585,000円
人件費(B)		千円	8,591.2	8,444.4	8,326.8	8,326.8	8,326.8
トータルコスト(A)+(B)		千円	234,332.2	268,953.4	257,743.8	257,743.8	284,169.8

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	就労する母親が増加している現況から、放課後児童対策の充実として、今後も学童保育所の充実を図る。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	一部地域においては人口の増加に伴い、児童数も増加していることから、学童保育所への入所希望が多く、年度当初における待機児童も発生している。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	保護者の就労等で適切な監護を受けられない児童を放課後安全に保育し、健全に育成するために、市の施策として実施していくため。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	当初と変化がない為現状のまま事業を推進する。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
		<input type="checkbox"/> 民間委託等				
<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し						
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input checked="" type="checkbox"/> ない					

コード	3176	事務事業名称	学童保育事業			所属名	子育て支援課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			一部地域での人口増に伴う児童数の増加に対応するため、他の事業との連携や今後予定されている制度改正に注視しながら、定員拡大や施設整備を検討していく。また、平成23年度から開始した放課後子ども教室の実施にあたっては、学童保育との協同的な運営について引き続き協議していく。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	待機児童や4年生受入れ等の対策の事業を実施するには、現在よりもコストが高くなる。	
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
対象児童を4年生以上へ拡大、夏休み等の長期休業中のみの利用、待機児童の解消、学童保育所の新設等。	

所属長コメント	一部地域で人口増に伴う児童数の増加への対応とともに、児童数の少ない地域で学童保育所の設置がない学区の通所の問題など地域間格差があるなか、学童保育所の総合的な適正配置と保育環境の整備を急ぐ必要がある。また、施設の老朽化への対応や耐震診断の実施など施設整備を検討していく。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	待機児童の解消等のため定員増や新設について検討すること。また、児童台帳管理や保育料管理については、新システムの導入を推進すること。